

令和元年度第1回桑名市総合計画審議会 会議概要

日時・場所	令和元年7月30日(火) 13:30~15:30 桑名市役所 3階第2会議室
出席者	委員：7名 市：2名 事務局：6名
会議次第	1 開会 2 自己紹介 3 議案 (1) 策定経過について (2) 策定方針について (3) 前期基本計画の評価及び現状と課題について 4 閉会
概要 (主な意見)	<p>1 開会</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 議案</p> <p> (1) 策定経過について</p> <p> 【事務局より概要説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの確認のため、特に意見なし <p> (2) 桑名市総合計画 後期基本計画の策定について</p> <p> 【事務局より概要説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度調査で満足度が低下したものを重点的に取り組んでいく点は、それはそれで重要である一方、満足度が高いものにも恐らく松竹梅があり、満足度が高い施策について、満足度を更に上昇させるよう取り組んで行くことも重要と考えられる。達成度合いの納得感について、市民と市政の間でズレが生じないように意識していくことが重要と考える。 ・選択と集中について、どのように選択をするかが重要で、まだ十分議論されていないので、そこがどのようになるかはやや懸念している。 ・委員の意見にある通り、満足度を上げる施策を行うことで、より満足度は得られる可能性があると考ええる。 ・住みやすい街は重要で、満足度をさらに上げていくのも重要と考えている。 ・地域福祉について、今一つ市民に十分浸透していないのではと考えている。例えば、高齢者でも健康であれば十分なサービスを楽しむことが出来ない。利用者にとっては満足度が高い一方、利用していない方(支える側)は必ずしも満足度が高くない可能性がある。

・委員の指摘の通り、幾つかの視点があることを意識することは重要。例えば、今の例でいえば、元気な高齢者には代わりに何かしら特典（例えば、夏祭りの優先席の設定等）を与える視点も一例として考えられる。

・選択と集中については私も重要と考える。新聞記事で見たが、公園のオブジェの修理代に1千万円が必要となった件で、後に中止されたが、大きな支出をしようとしたことに驚いた。必ずしも必要ではないと感じた。今回はアンケートを実施し、その結果を踏まえ中止したとのことだが、市民は何に困っているかを行政はしっかりと把握して、優先順位を決めて対応して頂くことが重要である。一方で、長島町の市民農園が閉園になるということで、土地の復元のため、土をどける費用が5千万円かかると言われている。その土は災害時の仮設住宅建設地にもっていくとの事で、それ自体は長島地区の住民にとっては重要と考えられるが、全体的に納得のいくお金の使い方を示してほしい。

・委員の意見は率直な市民の感想であると思われる。このような意見を伺うと、勿論完全に行うことは難しいが、市民と行政が互いにコミュニケーションをよりしっかり行い、市民の意見を耳にすれば、行政側も日々の行動のとり方も変わってきて、市政に対して市民もより納得頂ける可能性がある。

・満足度と一言と言っても回答側の市民は個人差があり、このアンケートだけで市民の意見が見えるかという難しい部分もあると考えられる。また、満足度の低下に「道路」があるが、これは一朝一夕での改善は難しく、長期的な取組が必要と考えられる。同じく「公共交通」も市民サービスという視点と財政上の制約という視点で相反する視点を抱えているため、対応には時間を要すると考えられる。

・自家用車を利用している方はあまり影響がないかもしれないが、公共交通しか移動手段がない場合、バスの本数減少は生活に大きく影響する。このため、回答者の状況や属性によって、アンケートの回答内容は変わってくると思う。また、外国人は増加しているが、国際交流の重要度が低くなっている。関心がない人は増えていることも認識していない可能性があるが、このような事実と認識のズレにより何かしら摩擦が生じてきている可能性がある。

・確認となるが、重要度は市民意見の反映で、行政側の意見ではないという理解で良いか。⇒その通りである。【事務局】

・その一方、市民アンケート結果と実際に取り組んでいる当事者の肌感覚とはズレが生じている可能性があるため、それは意識して頂けるとありがたい。

(3) 前期基本計画の評価及び現状と課題について

【事務局より概要説明】

・総論として5年前と比較して良くなったのかどうかを踏まえて議論を依頼する。

・5年前と比較して全体的には良くなっていると感じている。防犯防災は満足度が低下とあるが、実際は地域によって温度差があるものの、関心・対応が高まっていると感じている。

・全体として、5年前より良くなっていると感じている。一番重要なのは、桑名市の財政が豊かになることだと考えている。それにより政策も充実すると思われるため、財政力向上のために市民としても役割を果たしていきたい。市長は様々な所に顔を出して頂き、よく財政難を説明されているが、その中でも駅

前開発や病院等、市民としてわくわく感が出る開発も行われている。なお、市民活動センターについて、行政も財政不足で人員も不足していることは認識しているが、伴走方支援も必要に応じて検討して頂きたい。

・再開発がある中、市民の気分が盛り上がってきているというのは私自身も感じている。

・財政が厳しいのは承知している。その一方、同じ業務を複数の課で連携せずに行っていると見受けられるケースがある。例えば、福祉に関する調査について、民生委員や福祉部署、更に別の部署で同種の調査を実施している。市の担当者には毎回申し上げているが、対応は行われていない。

・重複の一因として、国が縦割り行政で、各省庁から別々に同種の作業依頼を自治体に行っていることが、可能性として考えられる。ただし、その場合でも市内で、横断的視点で横串に確認・調整することで、重複をある程度解消できる可能性はある。また、事実として重複している調査があるとのことで、それに対して市としてどう対応できるかというのは考えていくべき点である。

・防災面は良くなっていると感じている。例えば、家庭にあるレシーバ（※防災放送の受信機）でも最近時報がなるようになった。また、まちづくり協議会も入りやすくなったほか、福祉面の対応も向上していると考えている。一方、交通機関の空白地帯も存在しており、コミュニティバスだけでは移動手段としては不十分のため、何かしらの対応が必要と考えられる。

・空白地帯にはどの程度居住されているか。

⇒具体的な数値は分からないが、高齢者は相応にいると思われる。

・行政がその辺りは把握していることも重要。長島地区は統合されて変化は感じるか。

⇒市町合併後は旧長島町については、役所への往訪が不便になった。輪中の里で行っていた、味噌の加工教室、さつまいもの体験が廃止となっていき、地元として旧長島町の寂しさを感じる。

・市が大きくなると、均等にみているつもりでも、長年同じ土地に居住している方と行政側との感覚の違いが出てくるため、住民の感情変化等をくみ上げることが必要。

・良くなっているとは感じているが、先日イオンモール桑名の駐車場でイベントがあったときには市民はほとんど来ていなかった。市役所と病院と消防署と関連会社の身内が中心となっていた印象。市民にもより周知・PRが必要と感じている。

・せっかく大きなイベントとしてやっているのに、周知されていないのは残念。また、防災無線は声が聞き取りづらいので、風向きにもよるが改善して頂きたい。

・台風だと雨戸を閉めるので、外の音は聞こえない。旧長島地区にはほとんど受信機も鳴らず、最近になって時報が鳴り出した。

・全戸に取り付けは難しいので、スマホ等も活用していく必要がある。市も一定の努力はしているかと思うので、その中で意見を把握する必要がある。

・満足度は上昇していると思う。長島と多度は一定の年齢になると消防団に入るのは慣例なのか。

⇒慣例である。

・近い将来大きな災害が来る可能性が高いので、長島のような入団体験の窓口の拡大は必要なのではないか。消火器の使い方や救急処置の訓練等、技術や研修を覚える必要がある。また、5～10年後に血液が不足する（高齢者が増え、献血できる人が減るため）と言われており、市の施策ではないかもしれないが、防災も含め救急措置等については、若い世代への周知が重要となってくる。また、熊本へ研修視察に行った際、商工会議所と青年会議所の交流が無く、別々に炊き出しを行っていたという話を聞き、連携することの大切さも感じた。

満足度は病院設置や駅の工事、学校へのエアコン設置があり向上している。5年前は駅前で食事しても、昔は知り合いのみだったが、最近新しい人も増えて活気が出ていていると感じる。

財政収入に関しては、若い世代への施策の重要度を上げて頂き、企業誘致、起業支援等、若者が住みやすい街になれば収入が増える。そうすれば、高齢化により支出が増えるばかりではなく、全体的な財政収支バランスも取りやすいのではないか。

石取りのある地域は昔からの祭りもあり、年齢層に関わらず、住民間でコミュニケーションが取れており町内の防犯意識が強い。反面、地域によってはそういった事がなく、防犯カメラ等の設置や防犯意識を高める必要がある。犯罪・盗難は想定以上に多いケースもある。

・共通して感じたことは、防災の消防団入団等はきっかけが重要。また、防犯に関しては住民の孤立感が高まっている可能性がある。会社以外の生活コミュニティの中で、たまに交流できる環境や仕組みづくり（例えば消防団参加等）を構築できると、住民のつながりができ、防犯意識の向上・祭りなどのイベント・炊き出し・子供の保護など地域をまたがって住民意識の高まりにつながる。つまり市民同士の孤立化を無くすためのコミュニケーションを動かす仕組みを市として組み入れていくと、それぞれの効果が高まっていくと思う。今までの施策・プロジェクトの結果が出てきて、住民の意識は高まってきているので、もう少し住民が一体感をもって動けるような仕組みづくりを工夫すると施策が生きてきて、満足度も上がり、多方面に渡って良い影響をもたらす可能性がある。市民のモチベーションを上げることが今後は重要。

前期は、満足度が総じて良かったという反応で、後期は、基本部分は出来ているので、それを動かす原動力の仕組みを入れていけばいいのではないかと思う。また、新人消防団の会など、入会アナウンス等の工夫が必要である。

・最近四日市市に大型客船が来て長島温泉・アウトレットにも来ている。お金を落としてくれる人をどうやって桑名市に誘致するかの恒常的な施策について、市として、声を上げて呼び込む仕掛けを作ってくれたらありがたい。長島温泉は、大型バスが置ける場所があり客を呼び込むことができるが、市内ではそれが無く、その辺りの整備も重視して欲しい。

・津市でも同様の話を聞いた（バスの運転手が待機するスペースがない）。例えば、土日の公共施設の駐車場の開放等は工夫で出来なくはないと考えられる。

・今回の提示された内容について、いくつかの表現（クルクル工房、3Rなど）は記載が古い。

⇒変更点は修正をお願いしたい。

⇒今回は前期の取組内容を記載しているので、後期計画では最新の状況を踏まえて実施する。【事務局】

・ミシュランガイド東海版に掲載された店が桑名にも出てきて、店は繁盛しており、そのような店を増やしていくと、県外から観光客が増えるため、それを増やす補助金やPR等を行政の方でも行って頂きたい。また元号が変わり、メイン訪問は伊勢だが、全国的にも名古屋から入って桑名市でハマグリ⇒伊勢

	<p>⇒松坂というニーズが多い。ハマグリ、B級グルメ等の団体客アピールを出来る整備やPRをして頂ければと思う。歴史のある街なので、欧米人が好む可能性があると思われる。</p> <p>・プロモーション活動に関わることで、例えばインスタグラム等の5年前にはなかった手法により、効果も見込めるため、一度引き込むということが重要。たとえば桑名のハマグリを発信等。お金をかけるのではなく、工夫の問題である。ミシュランについては、名古屋市なら半年予約が取れないけど、桑名市なら取れるということもPRになるのではないか。</p> <p>全体的に市民は前向きな意見が多い。後期は桑名市を売りこむという感覚で行ってほしい。そうすると、市民も盛り上がるのではと考えている。</p> <p>4 閉 会</p>
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 まちづくり推進課</p>